

おおふなと

社協だより

2016年9月号

ふれあいネットワーク



今月の表紙

菊地 憲行さん、真喜子さん
研さん、紗文香さん
瑠華ちゃん(小4)、流斗くん(小3)、
礼華ちゃん(小1)、凜華ちゃん(3歳)
夕ヨさん
(三陸町越喜来在住)

「4世代9人家族です！」

【特集】赤い羽根共同募金運動がはじまります…	2~3
大船渡町南笹崎・お茶サロン	4
蛸ノ浦地区助け合い協議会	4
生活福祉資金(生活再建費)のご案内	5
台風10号大雨等災害への支援	5
お知らせ	6~7
輝き人	8



じぶんの町をよくするしくみ。

赤い羽根 共同募金運動が はじまります

今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が展開されます。

戦後間もない1947（昭和22）年に「国民たすけあい運動」として開始された共同募金は、当初、戦後復興の一助として戦災孤児など生活困窮者の支援に充てられました。その後、時代のニーズに合わせて、子どもの遊び場、障害者の小規模作業所、高齢者等への在宅福祉活動の支援と、柔軟にその役割を拡大・変化させ、現在は、地域福祉の推進（誰もが自らしく地域の中で暮らせるよう課題として、みんなで解決していく活動）に取り組む団体を支援しています。

今年度寄せられた一般募金は、来年度、表1の事業に取り組むことで、大船渡市で暮らす人たちの

共同募金は、自分たちの住むまちの福祉に活かされます

共同募金には、一般募金と歳末たすけあい募金がありますが、一般募金は、翌年、県内で地域福祉活動をする団体へ助成されます。

また、火災などで被災した世帯への見舞金や災害時の活動支援、社会福祉施設利用者へのサービス向上に向けた施設整備、ボランティア団体や町内会などの地域福祉活動へも助成されます。

歳末たすけあい募金は、その年の歳末時期に、募金が寄せられたその市町村で行う社会福祉活動へ助成されます。

平成22年度に大船渡市共同募金委員会へ寄せられた一般募金は約850万円、歳末たすけあい募金は約430万円でした。その翌年、東日本大震災が発生し、平成23年度の共同募金運動は見合せ、募金額は大きく減少しましたが、平成24年度からは微増傾向にあります。

しかし、昨年度の一般募金は約570万円、歳末たすけあい募金は約320万円で、わずかではありますが、震災後初めて減少しました。

平成22年度の募金実績額と比較しても、一般募金は約7割、歳末たすけあい募金は約8割程度で、一般募金の差額は、約270万円にも及びます。

このうち、「街頭募金」では、10月3日（月）に、大船渡市婦人団体連絡協議会の皆さんと、盛保育園、大船渡保育園、明和保育園、立根保育園の皆さんにご協力いただきながら、市内の大型店舗前で募金活動を行います。実施場所は、サ

生活を支援していきます。歳末たすけあい募金は、9月に開催する運営委員会で使いみちを決定することにしています。

大船渡市における 共同募金実績額の推移

大船渡市共同募金委員会（会長・戸田公明市長）では、今年も世帯を対象とした「戸別募金」を中心

に募金運動を展開します。募金目標額は、一般募金が650万円、歳末たすけあい募金が340万円。一般募金は、一世帯あたりを世帯数で除した金額の500円を一世帯の目安額としてお願いしますが、寄付にあたっては、任意での寄付をいただければ結構です。

また、通行人に協力を呼びかける「街頭募金」や企業を対象とした「法人募金」、児童生徒を対象とし、福祉教育を目的とした「学校募金」にも取り組みます。

大船渡市共同募金委員会の取り組み

募金と助成が一体となつたしくみで、地域での資金循環を生み出すところに大きな特徴がありますが、寄せられる募金の減少は、活動費用の減少に直結するという側面もあります。

ンリア、マイヤ大船渡店、マイヤ赤崎店、マイヤインター店で、いずれも午前10時から午後3時までです。

共同募金は、子どもから高齢者まで、さまざま地域住民が参加できる最も身近な社会貢献のしくみです。運動の趣旨をご理解いただき、赤い羽根共同募金にご協力くださいますようお願いいたします。



募金してくれた人へ赤い羽根シールを貼る
大船渡保育園児（昨年度）

「被災地住民支援活動助成」のご案内

東日本大震災後に、全国から岩手県共同募金会へ寄せられた募金を活用し、被災地住民の日常生活を支える活動や、コミュニティ再生を目的とした活動をしている団体へ助成しています。

対象となる活動は、仮設住宅や復興公営住宅の住民を対象にした孤立を防ぐ活動や日常生活を支える活動、コミュニティ再生を目的とした団体による支援活動です。ただし、公民館事業や法人などが行うべき本来の事業、1回限りや1日限りの活動は対象外となります。

（大船渡保育園 富澤基子理事長）
平成10年から共同募金運動の一環として、毎年10月1日に園児や職員が街頭募金活動に協力しています。いただいたものに対してもお返しがしたいと、羽根や風船を渡す園児の姿に、社会の小さな仕組みを垣間見ることができます。子どもたちが大きくなつた時に、この経験が活かされればと思います。

助成対象費用は、1団体につき総事業費の90%以内で50万円を上限とし、内容によっては、助成の対象外となる費用や上限額が設けられているものもあります。

なお、昨年度、大船渡市からこの助成事業へ応募した団体は、31団体で、そのうち23団体へ総額で約200万円が助成されました。

詳しくは、大船渡市共同募金委員会（電話：27・0001）へお問い合わせください。

表1 平成28年度募金による平成29年度事業計画

目的	事業名	内容
高齢者が地域でいきいきと暮らし続けることを支援するために	サロン開催助成事業 敬老記念品贈呈事業	各地域で行うサロン活動への助成 85歳を迎える人へ長寿座布団の贈呈
次代を担う子どもたちの福祉活動を支援するために	社会福祉推進校指定事業	学校での福祉・総合学習活動への助成
ボランティア活動を支援するために	ボランティア活動センター運営事業	ボランティア団体への活動支援、ボランティア養成講座の開催など
結婚したい方を支援するために	出会い支援事業	婚活イベントの開催
福祉のまちづくりを推進するために	社会福祉大会開催事業	社会福祉に功績のあった人の表彰
福祉活動を促進するために	社協だより発行事業 ホームページ管理事業	福祉活動の情報提供



大船渡町南 笹崎・お茶サロン

地域を笑いで元氣にするサロン



サロンで笑ってストレス発散！真ん中が新沼さん

大船渡町南 笹崎地域に、今年度、新たなサロンが誕生しました。サロン立ち上げの中心となつたのは、和野立子さん（61歳）、地元が元気になればという思いからサロンを始めました。

サロンの企画と運営は和野さんと新沼美代子さん（66歳）。地区が元気になればという思いからサロンを始めた新沼貞子さん（88歳）は、「人が寄り添って和氣あいあいとするのが楽しい」と笑顔を見せます。「サロンへ来ると楽しくてお腹の底から笑えるのが良い」とのこと。

笑いが心や体に良いということは医学的に実証されつつあり、病気の予防において注目を浴びています。サロン活動を通じ、たくさんの笑顔を咲かせることで、地域をさらに元気にすることもできそうです。

「参加者同士が誘いあつて来てくれるのが嬉しい」と和野さん。サロンでのメニューを考えることも苦にならないそうです。あまり難しく考えずに、樂しいこと、元気になることをメニューに取り上げることが継続する秘訣なのかもしれません。

協力してもらっています。また、市社会福祉協議会も軽体操など、お茶サロンからの依頼を受けてお手伝いをしています。

震災後、大船渡町浜町から南 笹崎へ転居した新沼貞子さん（88歳）は、「世話役の人は大変だべども楽しい」とニッコリ。千葉チドリさん（90歳）も「昔から体を動かすのが好きだから、とつていいの」と話します。

時間になると、高齢者の中でも若い世代である74歳までの人们で構成された「そよ風青年部」が世話役となつてラジオ体操をし、続いて、ストレッチ、リズム体操と続きます。



笑顔がいっぱいの楽しい朝のひとときです

赤崎町蛸ノ浦地区助け合い協議会

朝のラジオ体操が元気の源



赤崎町蛸ノ浦地区助け合い協議会（今野忠太郎会長）では、日曜日と雨天の日を除く毎日、朝8時30分に地域の高齢者が公民館に集まって体操をしています。

参加者の志田イク子さん（88歳）は、「世話役の人は大変だべども楽しい」とニッコリ。千葉チドリさん（90歳）も「昔から体を動かすのが好きだから、とつてもいいの」と話します。

高齢になると運動する機会が減りがちですが、毎日の習慣に

ラジオ体操を取り入れることは、「心」と「体」に一日の活力が生まれます。

コーディネーターの石橋さんは、「歌や踊りが好きな人が多いので、楽しく体操できる機会があれば良いと思つた。毎朝、みんなの顔を見られることが安否確認にもなり、情報を共有しあう場にもなるので、これからも続けたい」と話しています。



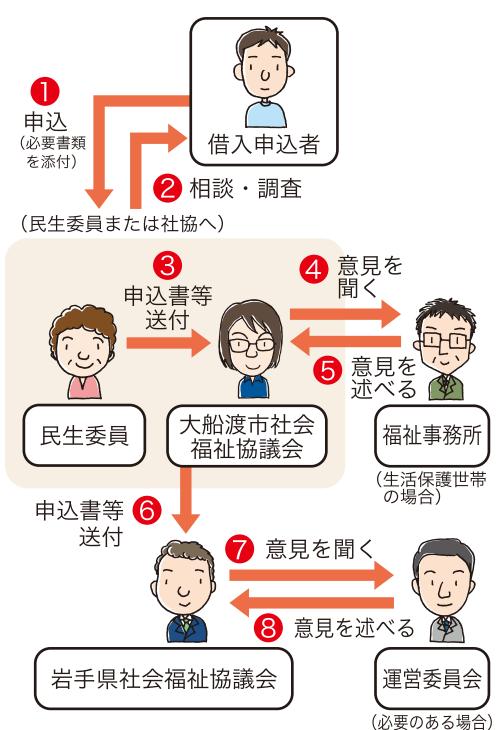
生活福祉資金(生活再建費)の一案内

仮設住宅から

引っ越しを予定している方へ

生活福祉資金「生活復興支援資金」 借入申込から申請までの流れ

※事情により変わる場合があります。



仮設住宅などから新たな居住先へ引っ越すための費用や、引っ越しに伴い、生活に必要な家電や家具などの購入費用に充てる資金をお貸しします。利用できる世帯は、り災証明書か被災証明書の発行を受けた世帯のうち、世帯収入がおおむね市町村民税非課税程度の世帯です。

貸付限度額は、80万円で、償

還期間は20年以内。貸付利子は年1.5%ですが、連帯保証人を立てる場合は無利子となります。詳しくは、大船渡市社会福祉協議会（電話27・0001、担当・古水、只野）へお問い合わせください。

災害義援金の募集について
台風10号で被災された皆様を支援するため災害義援金を募集します。

募集期間は、10月27日（木）まで、大船渡市共同募金委員会（大船渡市Y・Sセンター内）と大船渡市社会福祉協議会介護ステーション（大船渡市総合福祉センター地階）で受け付けます。

被災地でのボランティア活動を

お考え方の方へ

9月7日現在、県内7か所に災害ボランティアセンターが開設されています。活動を希望する方は、支援したい地域の災害ボランティアセンターへ連絡してから出発するようお願いします。

また、被災地でボランティア活動をする場合は、ボランティア保険への加入が必要となります。今回の支援活動は、加入手続きが完了した時から補償開始となります。が、被災地へ向かう際に事故に遭遇した場合も補償されますので、事前に大船渡市社会福祉協議

会（立根町字下欠125-12・大船渡市Y・Sセンター内）で手続きをするようお願いします。

なお、それぞれの災害ボランティアセンターの連絡先は次のとおりです。

久慈市（電話0194・53・3380）、宮古市本部（電話090・4478・3984）、宮古市新里（電話090・1069・7352）、宮古市川井（電話090・9259・9338）、岩泉町（090・4478・3984）、岩泉町小本（090・2270・0246）。



被災したお宅の掃除を手伝うボランティア

岩手県台風10号大雨等災害への支援
わたしたちにできること・
わたしたちだからできること・



タオル、飲み物、汗拭きタオル、その他必要なもの

*ボランティア関連情報

障害のある方へのボランティア活動をする人材を育成するため、次の2つの教室を開講します。いずれの教室も受講料は無料で、定員は15人です。事前の申し込みが必要です。

要約筆記教室

聴覚に障害のある人のために、話されている内容を要約し、文字として伝える活動を学ぶための教室です。

○日時 10月11日、18日、25日(いずれも火曜日)

○会場 大船渡市総合福祉センター(学習室)

○講師 要約筆記サークル「つなぎ」

音声訳教室



視覚に障害のある人のために、文字の情報を音声にしてわかりやすく伝えるための発音や発声法を学ぶ教室です。

○日時 10月12日、19日、26日(いずれも水曜日)

○会場 大船渡市総合福祉センター(図書室)

○講師 音声訳ボランティア「オープンハート」

*生きがい・健康づくり情報

救急講座「救命講習会＆着衣泳体験」

水難事故を想定し、心肺蘇生の手順と溺水しないための「浮いて救助を待つ」ことを体験する講座です。事前の申し込みが必要です。

○日時 10月16日(日)午前9時50分～正午
(受付は9時30分から)

○会場 大船渡市Y・Sセンター(ヘルスプール)

○定員 先着20人(ただし、小学3年生以下は保護者同伴)

○受講料 無料

○講師 大船渡消防組合救急救命士、着衣泳指導員

○持参品 水着、バスタオル、プールでの着衣物(洗濯済みのもの)、浮き具になるもの(ペットボトル、ゴミ袋、リュックサックなど)

*Y・Sセンター情報

プール臨時休業のお知らせ

水の入れ替え作業のため、10月16日(日)から10月31日(月)までの間、プールを休業します。この間、プール以外の施設(トレーニングルーム、浴室、遊戯室など)は通常通り利用できます。

「募集」「イベント」「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報を
お届けします。

お知らせ

平成28年10月

申込・ 大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

*支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン



誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

○時間 午前10時から正午

○内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程(10月)

開催日	会場
7日(金)	吉浜地区拠点センター
11日(火)	碁石コミュニティセンター
18日(火)	石橋公民館
21日(金)	下中井公民館
25日(火)	猪川地区公民館
28日(金)	綾姫ホール

*子育て関連情報

おでかけひろば



子育て親子の交流の場です。いずれも午前10時から正午まで開設します。

おでかけひろば日程(10月)

開催日	会場
11日(火)	サポートセンター鷗
15日(土)	サポートセンターおたすけ
22日(土)	サポートセンターさんそん
25日(火)	サポートセンターとみおか
26日(水)	カリタス大船渡地ノ森いこいの家

ママのためのヨガ教室

家事や育児で疲れた体と心をほぐす、ゆったりヨガ教室です。ジャージなど動きやすい服装でお越しください。お子さんと一緒に参加できます。

○日時 10月8日(土)午前10時～正午

○会場 大船渡市Y・Sセンター(教養娯楽室)

○受講料 無料

○講師 佐藤頼子さん(ヨガインストラクター)

○持参品 ヨガマットまたは大きめのバス

ですので、老人クラブ会員は各支部へ、会員でない人は大船渡市老人クラブ連合会へお申し込みください。

- 日時 平成28年10月1日(土)午前9時30分～午後0時40分 *受付は午前9時から
- 会場 盛川河川敷公園(多目的広場)
- 参加者 60歳以上の人
- 持参品 クラブ、ボール
- 問い合わせ先 大船渡市老人クラブ連合会・西村さん、電話(27)0001

*気仙地域リハビリテーション広域支援センター情報

失語症会話ボランティア入門講座

脳卒中や頭部外傷などによっておこる言葉の障害である「失語症」。失語症者と会話を楽しむコツを学ぶ講座です。事前の申し込みが必要です。

- 日時 9月24日(土)午前10時30分～午後0時30分
- 会場 福祉の里センター(研修室)
- 対象 気仙失語症友の会「はまりやすペや」の活動にボランティアとして参加を希望する方、失語症者の家族、失語症に関心のある方
- 受講料 無料
- 定員 15人
- 申込・問い合わせ先 気仙地域リハビリテーション広域支援センター・古川さん、電話(27)8877、ファックス(27)8871



□10月号課題 「サンマ」

□締め切り

10月5日(水)必着。
1人1句。(自信作をひとつ)
はがき使用。

□投句先

立根町字下欠 125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係

□その他

作品によっては、
添削する場合もあります。

「ささやかな」「冒険心」「古いの杖」。言葉の選び方が素晴らしい川柳を詠む場合、いかにいい言葉を選ぶかが大事。私は昔、好きな言葉をメモして、後にこれらの言葉を使った川柳を詠んだものである。

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の仕事や職場に就職を希望する方などの相談に応じます。

介護のしごと相談 (10月)

開催日	会 場	時 間
3日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
13日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
24日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
27日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
31日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

就労支援ワンポイントミニ講座

自己理解、他者理解、相互理解をすることで自分の強みを再発見する講座です。介護求人の動向や求人情報、個別相談にも応じます。事前の申し込みが必要です。

- 日時 10月21日(金)午後1時～4時
(受付 午後0時30分から)
- 会場 大船渡市総合福祉センター(学習室)
- 定員 先着10人
- 受講料 無料
- 申込・問い合わせ先 岩手県福祉人材センター・坂本さん、電話080-8201-0200、ファックス(27)0800

*老人クラブ情報

グラウンドゴルフ大会



高齢者の健康づくりを目的としたグラウンドゴルフ大会です。事前の申し込みが必要

「ふくし川柳」

課題「雑詠」

投句数 14 句
富谷英雄選

反戦に命を燃やし翁逝く
ホームでのしぐさ可愛い老夫婦

炎天下仕事に励む背に感謝
子や孫が帰り朝から残り物

旅終わるうまい物ない家がいい

何くそと老い吹き飛ばし邪魔にされ

健忘症惚けの狭間で生きている

子や孫に何より欲しい平和な世

亡き兄へ仏花片手に秋彼岸

赤・金野トミ子

大・金山みどり

日・佐藤アサ子

猪・村上 達男

盛・金野 幸恵

越・平田 栄夫

立・千葉美於子

大・新沼都紀子

末・滝田 澄子

『佳作』

ささやかな

冒

險

心

が

老

い

の

杖

立

・

武

田

みつ



輝き人

かね だ
金 田

あい 愛 さん (36歳)



10年前に大船渡へUターン。現在は大船渡の隠れた魅力を紹介するサイト「Ohfunako(オオフナコ)」リーダーを務めている。市内の観光スポット、グルメ、おすすめのサロン情報などを、メンバー25名が女子の目線で実際に取材し、発信している。大船渡町在住。

自分の地元に自信を持つてやりたいたい

●「被災地」で

終わらなくなかった

転勤などで内陸や県外から来た人の中には、被災地でもある大船渡に住むことに対し、マイナスなイメージを持つ人がいます。「樂しめるところ、あるのかな?」「内陸の方がよかつたな」などの声を聞く度に悲しい気持ちになります。

大船渡は「被災地」「田舎」かもしれないけれど、良い場所はたくさんあるということを知つてもらいたい。また、地元を離れた人が、地元の良さをこのサイトを通して再発見してほしい、という想いから、平成27年6月に「Ohfunako」を設立しました。

●着飾らず、背伸びせず

オオフナコのメンバーは、私の友人から始まり、活動の中で集まつた人たちです。出身地も、職種もばらばら。でも、大船渡がみーんな大好き。そして、ポジティブ。マイナスをプラスに変える力を持つています。

サイトの「食べる」「キレイ」「あそぶ」の各コンテンツは、自分たちで取材に行きます。実際に体験し、感じたままを生の声で伝えたいから。

女子目線のサイトだからといつておしゃれな作りにするのではなく、着飾らず、背伸びせず、「親しみやすさ」がオオフナコのコンセプトになっています。

大船渡を心から楽しんでくれる「オオフナコ」が一人でも増えよう、これからも情報を発信していくので、一度サイトをのぞいてみてください。

●田舎なりじの生活を楽しむ

サイトの運営の他にも、これまで椿のキーholder作りや、ランダースティック作りなどのワークショップを開催しました。

これからもワークショップを開催し、同じ世代の方たちが集える機会を作つていきたいと思います。

そして、将来的には観光客と住民との交流人口が増えるような「大船渡観光ツアーア」などの企画を考えていきたいです。

都会では、おしゃれな鹿のグッズが売られているけれど、ここではその実物や親子連れに遭遇することがあつたり・・・。都会では出来ない経験を楽しみながら、大船渡での生活を私は楽しんでいます。